

平成24年度第2回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成24年9月14日(金) 兵庫県立ひょうご女性交流館501		
委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 大搦 幸男 (弁護士) 北野 参則 (公認会計士) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員) 欠席委員：泉水委員		
対象期間	平成24年4月1日 ~ 平成24年6月30日		
事務局報告 平成24年度第1回委員会の議事概要			
議案1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
対象工事 件数	85 件	対象期間中の指名停止件数	9 件
対象工事の契約金額合計	3,195,473 千円	対象期間中の資格制限件数	1 件
対象工事の平均落札率	88.1 %	対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事	
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出案件 総数 5 件			
うち	一般競争入札	- 件	
	公募型一般競争入札	1 件	
	制限付き一般競争入札	3 件	
	指名競争入札	1 件	
	随意契約	0 件	
委員からの質問・意見 それに対する回答等	質問・意見	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	無し		

別 紙

議題	質 問 ・ 意 見	回 答
<p>1 事務局報告 平成 24 年度第 1 回委員会の議事概要について</p> <p>2 入札及び契約手続の運用状況等の報告 H24.4.1 ~ 6.30 の入札・契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約が 6 件あるが、その随意契約理由は、 ・ 今年度第 1 四半期の契約件数が少ないが、毎年度こういった状況か。 <p>3</p> <p>(1) 抽出した工事に係る入札及び契約手続き等の審議 公募型一般競争入札： 阪神南県民局（西宮土木事務所）発注 「(元浜)大浜橋上部工工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は総合評価落札方式であり落札率が低いが、どのようなことが考えられるか。 <p>(2) 制限付き一般競争入札： 中播磨県民局（姫路土木事務所）発注 「兵庫西流域下水汚泥広域処理場無停電電源装置改築工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既設設備の改築は落札率が高くなる傾向があるが、本工事は低落札率であった。何か理由はあるか。 <p>(3) 但馬県民局（新温泉土木事務所）発注 「(地)宿地区地すべり対策工事(その 4)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様の工事でその 1 からその 3 があるが、本工事と比べて落札率が低いのは何故か。 <p>(4) 淡路県民局（洲本農林水産振興事務所）発注 「南防波堤改良(その 1)工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞退者が多く、高落札率となったのは何故か。 <p>(5) 指名競争入札： 淡路県民局（洲本土木事務所）発注 「山田川水系山田川河川災害復旧工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞退者が多く、高落札率となったのは何故か。 ・ 変更契約を行ったのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害などのために緊急を要すること、既存設備の改良などのために当初設置した者でないと施工できないことが理由である。 ・ 補助金申請事務や設計を年度前半に行い、予算措置後の発注となるので、年度後半に発注が多くなる。 発注業務でなく工事そのものは、繰越事業やゼロ県債を活用して、平準化するよう努めている。 ・ 橋梁メーカーは積算を熟知しているところが多く、橋梁工事の発注量が少ないために受注意欲が高いことから、最低制限価格付近に応札が集中した。 ・ 工事費の 9 割近くが機器費であり、機器の値段で応札額が決まる。 ・ 本工事に比べて施工条件がよい上に、入札参加の所在地要件を上げたことで、競争が激しかったと思われる。 本工事の現場は、谷底であることと積雪量が多いことから敬遠され、高めの応札になったと考えられる。 ・ 水中での施工が伴うために船舶や潜水士が必要であり、それに係る費用と工事規模を鑑みて敬遠されたのではないかとと思われる。 ・ 昨年の台風の災害で淡路県民局管内が大きな被害を受け、年度末に災害復旧工事が多く発注されたことから、自社に有利な工事を選択する傾向や、配置技術者不足などが考えられる。 ・ 現地を再確認した結果、被災水位が堤防を越えていることが判明し、再度の災害を防ぐために変更した。 	
	<p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は、無かった旨、事務局から報告。 	